

## 教育理念と学校建設に係る基本構想（素案）

### ○教育基本理念

「教育は人づくり、人づくりはまちづくり。まちの未来づくり」

### ○これからの真鶴町の子ども像

- 1 多様性を尊重できる子  
\*多様な価値を認める子 \*高齢者と共に生きる子 \*共感する力をもった子 など
- 2 関わる力をもった子  
\*関わり合い、共生できる子 \*外に向かうバイタリティーをもった子 など
- 3 創り出す力をもった子  
\*夢中になれるものを見出す子 \*主体的に考え、粘り強く行動する子 など
- 4 発信する力をもった子  
\*自分の思いが言える子 \*情報を読み解く力をもった子 など
- 5 心の豊かな子  
\*基本的な生活習慣を身につけた子 \*自他を思いやる温もりをもった子 など
- 6 ふるさとを大切にする子  
\*町の伝統・文化を引き継ぐ子 \*町の文化・自然に関わる子 など

### ○学校建設に係る3つの基本方針

- ① 真鶴の魅力を生かした学び舎づくりの推進（生活）
- ② 交流と多様性をキーワードとした双方向の学びの実現（学び）
- ③ 真鶴町全体をフィールドにした教育の推進（共創）

### ○基本方針に基づく建設基本構想

#### 1 真鶴の魅力を生かした学び舎づくりの推進（生活）

- \*町の景観に相応しい校舎づくり・自然光を生かした温かみのある校舎づくり  
⇒・美の基準を生かした設計（一部でも可）
  - ・小松石（石材業）、網（漁業）、木材（お林、木のぬくもり）等の活用
- \*すべての子どもたちの居場所（サードプレイス）となるような余裕のある空間づくり  
⇒・教室以外に座ることのできる場所（ベンチ、廊下等）
  - ・大切な生活空間としての綺麗で使いやすいトイレ
- \*発達段階に応じて成長が感じられる教室・施設等の配置（校舎全体が学びの場・成長の場）  
⇒・教室階の工夫、玄関からの動線の工夫
  - ・教科専用教室（イングリッシュルーム、アートルーム等）の設置（学び心地、教え心地の良い教室空間）
  - ・ビオトープや畑（農園）など生き物にふれ合える空間
- \*教職員の働きやすさを追求した施設の整備  
⇒・教材研究や同僚への相談のしやすさを感じられる職員室やミーティングルーム
- \*社会の変化に対応するための増改築が可能な構造の選択  
⇒・将来を見越した建築構造
  - ・メンテナンス・維持費への配慮

## 2 交流と多様性を柱とした双方向の学びの実現（学び）

- \*交流（異学年、子どもと町民、子どもと卒業生、町民同士）の場づくり
  - ⇒・横断的な学び、多様な集団に対応できる異学年交流スペース（オープンスペース）
  - ・町民との交流を意識したカフェテリア式のランチルーム（給食の実施）
  - ・町民との交流を意識した展示ギャラリー **要検討**
- \*多様性（他校、他地区、外国、他施設等）を感じられる場づくり
  - ⇒・デジタル技術を生かした学びの空間（ICTルーム）
  - ・「まなづる未来学」（仮称）の充実を図るための設備（映像編集機器等）と人材 **要検討**  
ex. 町を知る→町を体験する→町の良さを知る→町を発信する
- \*個に応じた支援教育を充実させるための場づくり
  - ⇒・多様な教育的ニーズに応じた学習を展開できる教室環境  
（移動式ホワイトボード等を活用した黒板や壁のない教室、ICT機器等）
  - ・発達段階に応じた特別支援教室の複数配置
  - ・相談と学習を兼ね備えた校内支援室
- \*高校生・大学生を含めた大人も子どもも学び直し（チャレンジとリトライ）ができる場づくり
  - ⇒・地域に開放された学習・情報センターとしての学校図書館
  - ・生涯学習の拠点としての講座等の開催が可能な地域交流スペース
  - ・地域コミュニティの場として気楽に集まることのできるサロン

## 3 真鶴町全体をフィールドにした教育の推進（共創）

- \*学校と地域・住民との連携の促進
  - ⇒・真鶴版コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の構築  
（仮称「幼小中一貫教育推進協議会」…複数の専門部会で構成、検証・評価と課題解決）  
（人材・施設等、地域の教育力の積極的活用）  
（ボランティア活動、真鶴スクールサポーター、校外活動等の充実）  
（地域行事等への参加促進 → コミュニティ・スクール専用の部屋の確保）
- \*地域教材のネットワーク化
  - ⇒・石材業、漁業（海）、農業（柑橘類）、お林（森）等を生かした教育の推進
  - ・公共施設（社会教育施設、情報センター、パークゴルフ場等）の活用
  - ・岩海岸、他自治体にあるプール（公営・民営）を活用した水泳の授業
  - ・ホームページの整備・充実と発信
- \*真鶴の伝統文化を学び伝える拠点の創出
  - ⇒・岩小、まなづる（真鶴）小、真鶴中の伝統を伝える歴史展示コーナーの設置
  - ・町の宝（自然・歴史・文化・人）を継承する「ふるさと学びルーム」の設置
- \*町民みんなで新たな学校を守っていく体制の構築
  - ⇒・通学路を含めた子どもたちの安全・安心な仕組みの構築
  - ・横断歩道、信号機等周辺道路の環境整備
  - ・地域施設の自治管理体制（地域サロン等）の確立

## 4 その他留意事項

- \*防災・減災拠点（避難所）としての機能の確保（複合施設化）
- \*学童保育、放課後子どもいきいきクラブ、土曜教室のあり方
- \*駐車場の確保
- \*防犯対策、バリアフリー、ネット環境、空調設備、脱炭素化（ソーラーシステム等）等の推進